

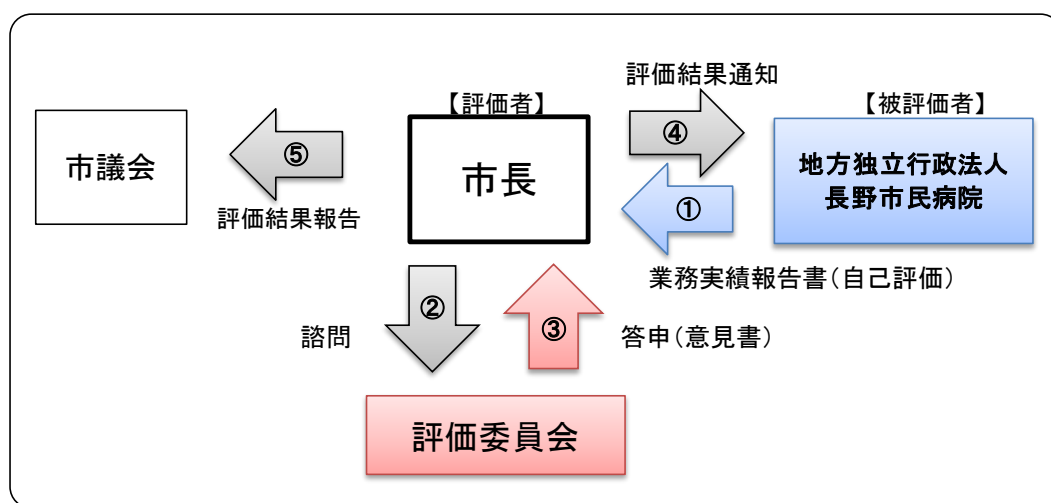
長野市民病院の業務実績評価について

1 業務実績評価の区分

- (1) 年度ごとの評価・・・・・・・・・・・・・毎年度実施
- (2) 中期目標期間（R元～3年度）の見込評価・・・・・・・・目標期間の最終年度（R3年度）に実施
- (3) 中期目標期間（R元～3年度）の評価・・・・・・・・目標期間終了後（R4年度）に実施

※今年度は、(1)の「年度ごとの評価（令和元年度業務実績の評価）」のみ実施します。

2 業務実績評価の評価関係図



3 評価の方法

1 評価区分	A 項目別評価			B 総合評価
	小項目	中項目	大項目	
2 評価者	法人による 自己評価のみ	市 長	市 長	市 長
3 評価委員の 役割	評価委員会では <u>評価しない</u> 。	評価委員会で評価し、意見書を作成する。		
	■小項目に対する <u>意見は、中項目評価へ反映</u> する。	■ <u>自己評価と評価が異なる場合や特筆すべき事項は、意見書に付記</u> する。	■中項目の平均点を評価基準に照らして点数を決定する。	■項目別評価の結果を踏まえ、総合的な実施状況を記述式で評価する。
4 評価方式	5段階 (5～1)	5段階 (5～1)	5段階 (S～D)	記述式

(評点の事例)	例 A	4	}	3	}	B $\left(\frac{3+4}{2} = 3.5 \right)$	(省略)
		3					
		2					
	例 B	4	}	4			
		4					
		4					

4 評価基準

区分	点数	判断基準	判断の目安
小・中項目	5	計画を上回り、顕著な成果がある	
	4	計画を予定どおり実施している	
	3	計画を概ね予定どおり実施している	
	2	計画を十分に実施していない	
	1	計画を全く実施していない	
大項目	S	特筆すべき成果	市長が特に認める場合
	A	計画どおり	中項目評価平均が4.0以上
	B	概ね計画どおり	中項目評価平均が3.0～3.9
	C	計画を下回っている	中項目評価平均が2.9以下
	D	業務の改善が必要	市長が特に認める場合

5 業務実績評価に関する委員会の進め方

手順1 病院は「業務実績報告書」に基づき説明

手順2 委員会は、「業務実績報告書（自己評価）」の中項目ごとに点数を付け、意見を述べる。

- 委員会の評価点が自己評価と異なるときは、その理由
- その他、特筆すべき事項

第1回
(8/27)

手順3 事務局は、委員会の評価点と意見を整理して、意見書（案）を作成する。

手順4 委員会は、意見書（案）を審議の上決定して、市長へ報告する（答申）。

第2回
(10/15)



- ・市長は、委員会の意見書（答申）を踏まえ、評価を決定。
- ・評価結果を病院へ通知するとともに、市議会へ報告する（12月議会）。